

米づくり情報 第3号

令和4年7月15日

平坦部(佐賀県農業試験研究センター)

本年産水稻の生育状況(7月15日)

移植日	項目 品種	年次	草丈	茎数	葉齢	葉色	概況 (平年と比較して)
			cm	本/m ²	L	SPAD	
6月17日	夢しずく	本年	44.0	307	9.6	38.2	[気象] 7月8日~14日まで ◆平均気温…平年より2.0°C高い ◆日照時間…長い(平年比 115%) ◆降水量…少ない(平年比 28%) [生育] ◆草丈 各品種ともやや低い。 ◆茎数 「夢しずく」では少ない。「ヒノヒカリ」では平年並み。「さがびより」ではやや多い、「ヒヨクモチ」では多い。 ◆葉齢 「夢しずく」では進んでおり、他の品種では平年並みである。 ◆葉色 「夢しずく」「さがびより」では平年並み、「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」ではやや濃い。
		平年	45.0	328	9.0	38.0	
		平年比(差)	98	94	+0.6	+0.2	
	ヒノヒカリ	本年	38.7	444	9.1	41.5	
		平年	39.6	443	9.2	40.5	
		平年比(差)	98	100	-0.1	+1.0	
6月20日	さがびより	本年	38.6	349	9.1	40.6	
		平年	39.2	330	9.0	41.2	
		平年比(差)	98	106	+0.1	-0.6	
	ヒヨクモチ	本年	35.0	701	9.5	42.6	
		平年	36.1	562	9.5	41.8	
		平年比(差)	97	125	±0.0	+0.8	
留意点	○ 茎数の少ない圃場では浅水管理を行い、分けつ促進に努める。 ○ 必要な茎数が確保できた圃場においては、中干しを実施する。「夢しずく」は7月第5~第6半旬に幼穂形成期となるため、それまでに中干しを終了する。 ○ トビイロウンカ及びコブノメイガの発生に注意する。						

注1)「夢しずく」、「ヒノヒカリ」は、6月17日移植の稚苗(播種期5/23, 播種量 湿粳 180g/箱)

「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6月20日移植の稚苗(播種期5/26 播種量 湿粳 180g/箱)

2) 栽植密度: 「夢しずく」は、条間30cm×株間17cm, 19.6株/m²(65株/坪)

「さがびより」は、条間30cm×株間20cm, 16.7株/m²(55株/坪)

「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間30cm×株間15cm, 22.2株/m²(73株/坪)

3) 栽培管理: 施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。

4) 概況欄の【草丈】、【茎数】の平年値との比較については、以下のように定義している。

低い(少ない): 94以下、やや低い(やや少ない): 95~98、平年並み: 99~101、

やや高い(やや多い): 102~105、高い(多い): 106以上。

5) 平年値は、収量について過去の全試験年次の標準偏差(σ)を算出し、 $\pm 1\sigma$ の外側にある年次を除く年次を対象にした、各項目の単純平均値。

【窒素の時期別施用量(N kg/10a)】

品種	基肥	中追	穂肥I	穂肥II	実肥
夢しずく	3.0	0.0	2.0	—	—
ヒノヒカリ	4.0	2.0	3.0	—	—
さがびより	5.0	0.0	2.0	—	—
ヒヨクモチ	4.0	3.0	4.0	1.5	1.5

令和4年産 稲作期間気象図

アメダス観測値(佐賀)

農業試験研究センター
作物栽培研究担当

